

①題：「父のトータルコーディネート」(31分)

説教者 : 青木泰樹

聖書朗読 : フィリピの信徒への手紙 2 : 13~16

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『ミニストリー・オブ・ヒーリング』(新装版) 63 頁

「神の子となる者は、自分がその時から世を救うためにおろされた鎖の一環と考え、イエスの憐れみ深いご計画においてキリストと 1 つになり、失われた者を捜して救うために、キリストと共に出て行かなければならない。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 111 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 355 番

②題：「× をもらったら」(28分)

説教者 : 伊藤裕史

聖書朗読 : サムエル記上 12 : 20

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『希望への光 (人類のあけぼの)』321 頁

「サムエルは、人々を失望した状態のまま、放任しておかなかった。このままでは、さらに向上した生活に対する彼らの努力をすべて妨げてしまったことであろう。サタンは、人々に、神を厳格で許すことをしないかたのように思わせようとした。……神は、あわれみ深く、許すかたであって、神の民が、神の声に従うならば、常に恵みをほどこそうとされるのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 14 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 286 番

③題：「心の貧しい人々の幸い」(28分)

説教者 : 藤田昌孝

聖書朗読 : マタイによる福音書 5 : 3

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『祝福の山』9 頁

「罪を認めさせる神の霊によって心を打たれた者たちは自分の中に何もよいものがないことを悟る。彼らは、今までしてきたことはすべて、自我と罪がまざっていることを知る。かれらはあわれな取税人のように遠くはなれて立ち、目を天にむけようとしないうで、「神様、罪人のわたしをおゆるしてください」と叫ぶ。その時彼らは祝福されるのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 14 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 258 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。